

終章 『(仮称)あつぎの道づくり計画』策定に向けて

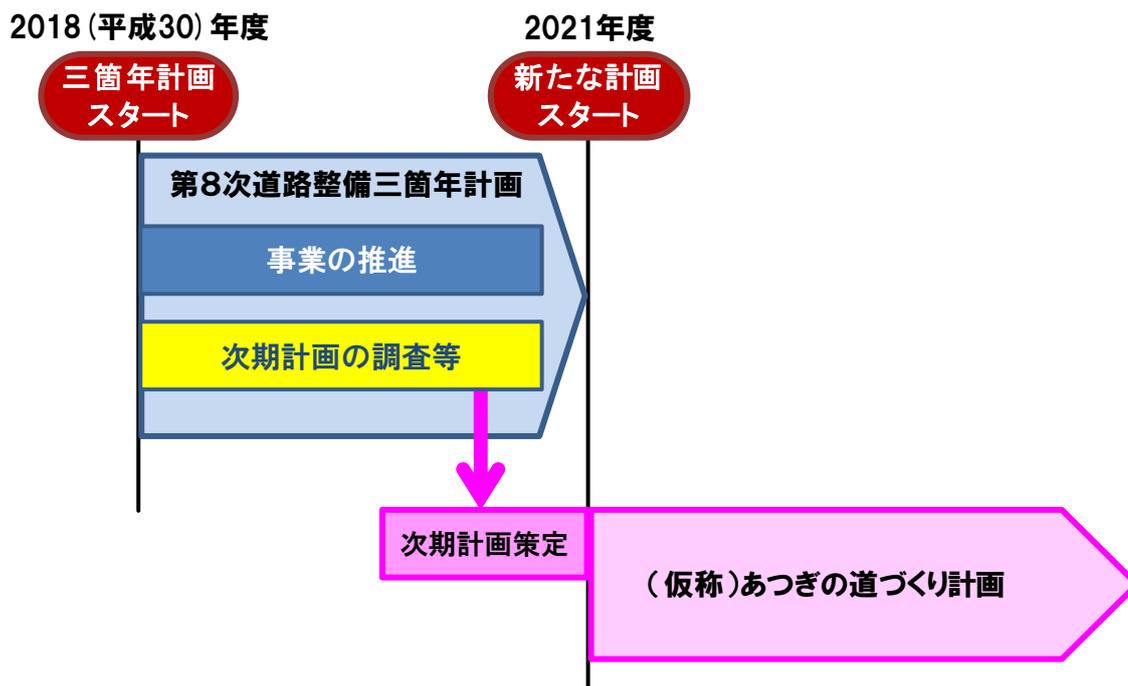
次期計画は、厚木市の将来を見据えた計画とすべく、『(仮称)あつぎの道づくり計画』(2021年度～)として策定します。この新たな計画では、「道路のネットワーク化」や「ストック効果の最大化」など道路整備の在り方を検証するほか、整備してきた道路の「維持管理」や「有効活用」など新たな要素も加えて、計画の策定に向けて作業を進めます。



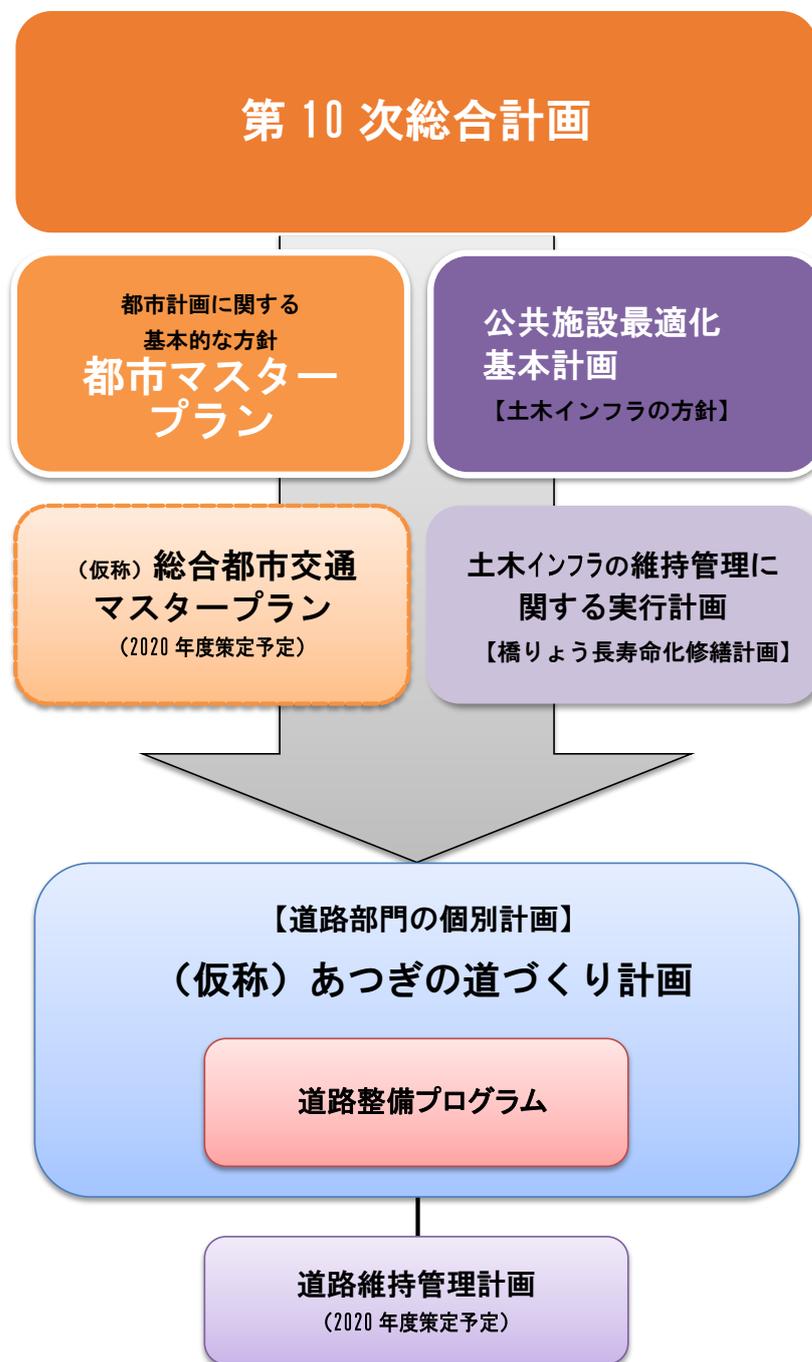
本市では、2021年度から新たな「総合計画」や「都市マスタープラン」、「(仮称)総合都市交通マスタープラン」がスタートします。道路分野の計画についても、これら上位計画との整合を図った上で、新たな「(仮称)あつぎの道づくり計画」を策定し、さらに、事業の確実な進捗を図るための実施計画（道路整備プログラム）も策定する予定です。

第8次道路整備三箇年計画期間（2018～2020年度）においては、「(仮称)あつぎの道づくり計画」の策定に向け、今後予定されている新東名高速道路や厚木秦野道路などの広域幹線道路ネットワークを含めた将来的な道路整備を見据えた上で、本市における道づくり方針や実施事業の検討を進めていきます。

■『(仮称)あつぎの道づくり計画』策定イメージ



■『(仮称)あつぎの道づくり計画』の位置付け



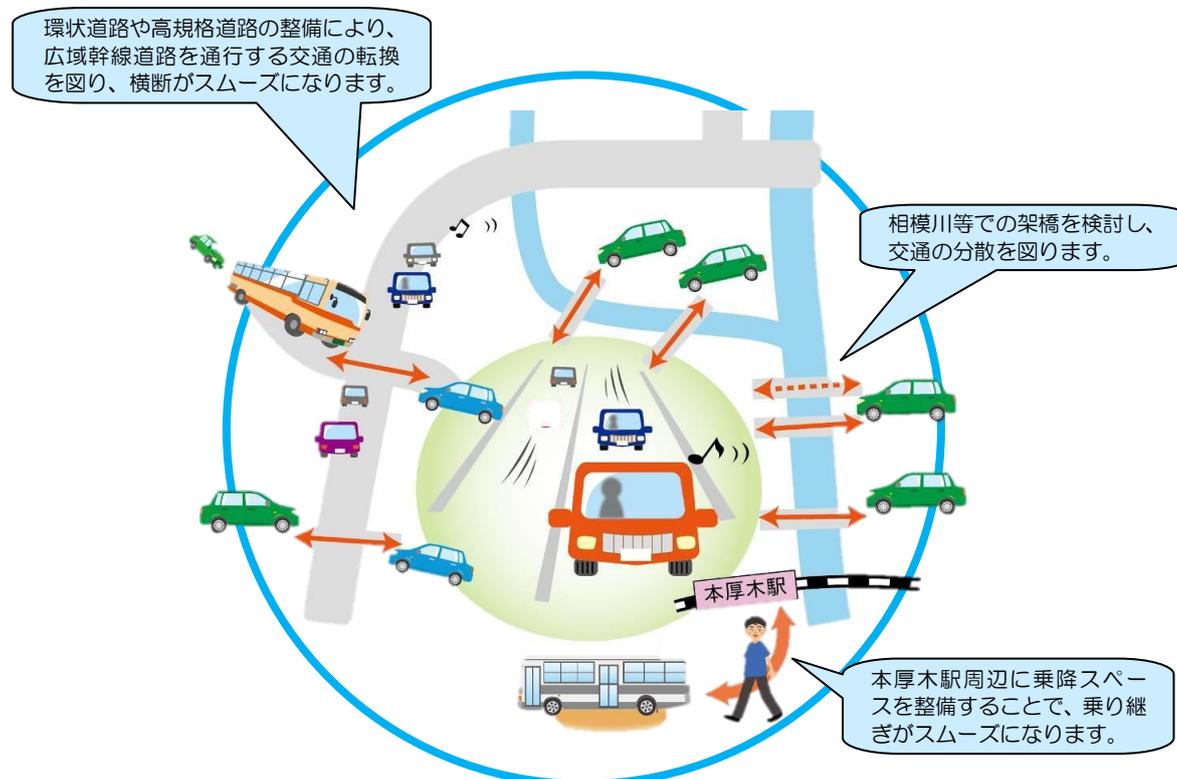
新たな計画策定に向けた道づくり方針の検討

『(仮称)あつぎの道づくり計画』では、第8次道路整備三箇年計画で進めてきた道路の「整備」、「維持管理」に、道路の「活用」を加えた三つの視点を基本に、これまで整備してきた社会資本を有効に活用できる道づくり方針を検討していきます。

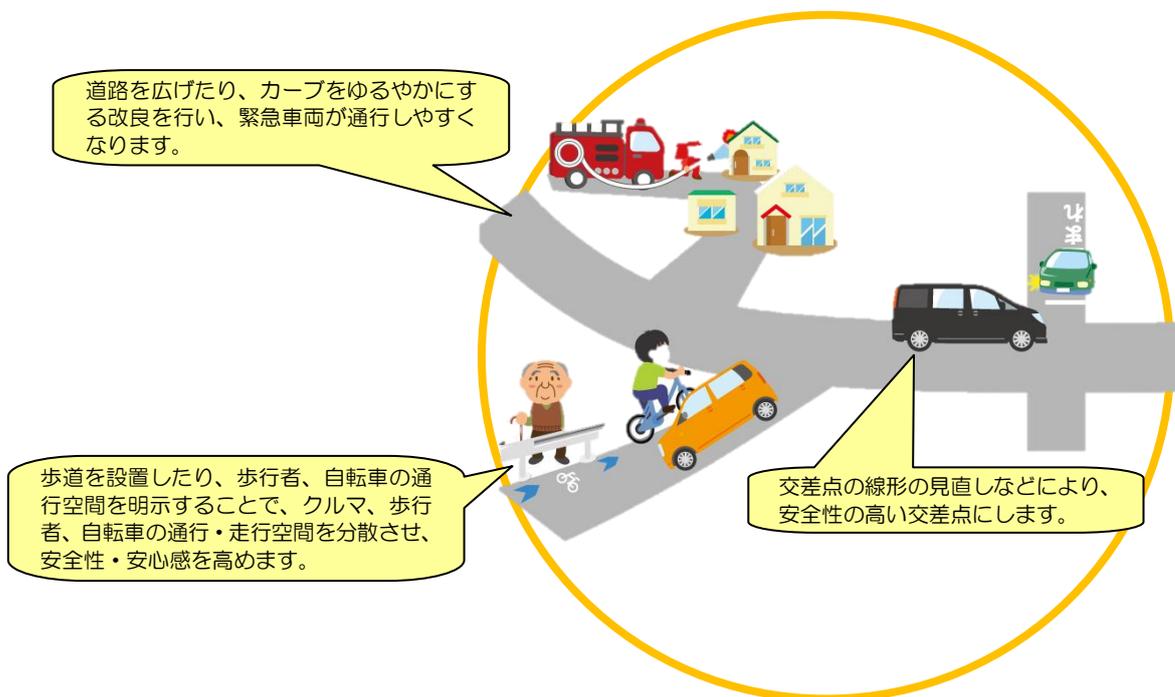
■『(仮称)あつぎの道づくり計画』で推進する道づくり方針イメージ

| 道づくりの視点 | | 道づくりの方針 |
|-----------|---------------|--|
| 道路整備 | スムーズな移動環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> ●地域間の移動を円滑にする道路整備 ●高規格道路へのアクセス利便性の向上 ●公共交通での移動利便性の向上 |
| | 安全・安心な道路空間の形成 | <ul style="list-style-type: none"> ●人にやさしい歩行空間の形成 ●快適な自転車走行空間の形成 ●安全・安心な道路空間の形成 |
| 道路の機能維持 | | <ul style="list-style-type: none"> ●地域との連携・協働の推進 ●迅速・的確な維持管理の推進 ●効率的で計画的な維持管理の推進 |
| 道路空間の有効活用 | | ●道路空間の有効活用 |

■道路整備～スムーズな移動環境づくりのイメージ



■道路整備～安全・安心な道路空間の形成イメージ



■道路の機能維持イメージ



地域住民らによる沿道緑化作業

■道路空間の有効活用イメージ



地下道の活用例
(平成 27 年度本厚木駅東口地下道活性化事業)



あつぎ鮎まつりでのみこしショー

新たな計画策定に向けた事業の検証

計画に位置づける事業は、第8次道路整備三箇年計画で積み残された事業だけでなく、道路交通問題が大きい箇所を実施する事業、事業実施による効果が高い事業など、整備優先性を検証した上で、計画を立案していきます。

特に、歩行空間や自転車走行空間については、第8次道路整備三箇年計画期間中に歩行者や自転車のネットワーク計画、中心市街地における無電柱化計画を検討し、『(仮称)あつぎの道づくり計画』に反映していきます。

また、道路の維持管理については、「道路維持管理計画」を検討し、『(仮称)あつぎの道づくり計画』の下位計画に位置づけます。

■『(仮称)あつぎの道づくり計画』への反映のため

第8次道路整備三箇年計画期間中に実施する事業

| 事業名 | 事業内容 |
|---------------|--|
| 自転車走行空間整備事業 | 自転車と歩行者の安全確保を目的に、市内全域を対象に自転車走行空間整備路線等を検討し、次期、「(仮称)あつぎの道づくり計画」に反映します。 |
| 歩行者ネットワーク整備事業 | 歩道整備等における歩行者ネットワークの視点から歩道等の整備計画を検討するための調査のほか、交通量調査を実施。現況の交通状況を把握し、次期、「(仮称)あつぎの道づくり計画」に反映します。 |
| 無電柱化事業 | 本厚木駅周辺などの中心市街地における市道で、災害時においても安全で快適な道路空間を創出するため、整備路線等を検討し、次期、「(仮称)あつぎの道づくり計画」に反映します。 |
| 道路維持管理計画策定事業 | 橋りょうの長寿命化や舗装補修、街路樹の維持管理を進めるにあたり、計画的な維持管理を推進するため、道路の維持管理計画を策定し、費用の平準化と経費削減を図ります。また、次期、「(仮称)あつぎの道づくり計画」の下位計画に位置づけます。 |

マネジメントシステム運用による計画の見直し・改善

事業実施にあたっては、やむを得ない事情により事業が長期化することもあり、加えて、地域のニーズや社会情勢も時とともに変化していくと考えられます。

このため、『(仮称)あつぎの道づくり計画』では、状況の変化に応じて柔軟に対応できるようにするため、PDCA サイクルにもとづいたマネジメントシステムを採用入れ、適宜、計画の見直しなどの改善を図りながら進めていきます。

■PDCA サイクルによる計画の改善イメージ

